



2021 年 5 月 21 日

各 位

会社名	ビート・ホールディングス・リミテッド (URL : https://www.beatholdings.com/)
代表者名	最高経営責任者 (CEO) 松田 元 (東証第二部 コード番号 : 9399)
連絡先	経営企画室マネージャー 高山 雄太 (電話 : 03-4570-0741)

株主による提案に関するお知らせ

当社（以下、「当社」または「ビート」といいます。）は、当社株主より、2021 年 5 月 21 日に、株主の提案に関する同日付の書面（以下「本株主提案書面」といいます。）を受領いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 請求株主

ライ・マン・コン氏（以下、「ライ氏」といいます。）、ラウ・クエン・クエン氏、チャン・ユク・ピン氏、One Heart International Limited 及び Well Zone Enterprise Limited（以下、総称して「ライ氏グループ」といいます。）（その保有議決権の合計：9,571,965 個、総株主の議決権数に対する所有割合：15.81%（注））からの共同提案によるものです。なお、当社は上記を当社株主名簿にて確認しており、その所有割合は本日現在の当社の発行済株式 60,560,057.79 株（普通株式及び A 種優先株式）に対する割合となります。

注：金融商品取引法に基づいて提出されたライ氏の最新の大量保有報告書および当社の株主リストによります。

2. 請求の内容

本株主提案書面にかかる株主提案の内容は別紙 1（本プレス・リリースの 6 ページ目以降）のとおりです。なお、以下は本株主提案書面内の提案の参考和訳です。

1 Fame Rich Limited の株式持分 39%の現物出資と引き換えに、レン・イー・ハン氏又はレン・イー・ハン氏がコントロールする会社への普通株式及び新株予約権の発行の提案

ライ氏グループは、レン・イー・ハン氏（以下、「レン氏」といいます。）又はレン氏がコントロールする会社（以下、「レン氏グループ」といいます。）に対し、レン氏が保有する Fame Rich Limited（以下、「Fame Rich」といいます。）の株式持分 39%の出資と引き換えに、16.2 百万株の普通株式（以下、「本新株式」といいます。）及び 165.4 百万個の新株予約権（以下、「本新株予約権」といいます。）（その詳細は以下の表の通り）を発行（現物出資）することを提案しています。

レン氏は日本に留学し、日本企業に勤務したり日本企業を設立したりしました。すなわち、レン氏は、上智大学の交換留学生の後、日鉄商事（現日本鉄鋼貿易株式会社）及び野村/JAFCO インベストメ



ント（香港）有限責任会社（現 JAFCO アジア）に勤務し、さらに、レン氏は、共同で BBMF コーポレーション（その子会社は現在ビーグリー株式会社（東京証券取引所第 1 部に上場（証券コード 3981））として知られています。）を創設し、同社の CEO でした。

レン氏は、2013 年 5 月 23 日に任命されたビートの元会長兼 CEO 兼 CFO であり、ビートの元取締役でした。ビートの当時の既存事業は全て赤字であったため、レン氏は、ビートを経営して不採算事業から撤退し、メッセージング、ヘルスケア、ブロックチェーンテクノロジー及び知的財産ライセンス等の新たな事業を開始し、また、ビートの事業の変更を反映してビートの社名を新華・ホールディングス・リミテッドからビート・ホールディングス・リミテッドに変更しました。しかし、2019 年 11 月 29 日、レン氏は、健康上の理由からビートの会長兼 CEO 兼 CFO 及びビートの取締役を退任しなければなりませんでした。

レン氏がビートを経営していた時、ビートを財政的に支援するために、レン氏は、自ら又はレン氏の個人的な投資会社である One Heart International Limited を通じて、ビートに対し、8.0 百万米ドル（874.0 百万円）の融資を行い、また、ビートへ対する 3.7 百万米ドル（404.2 百万円）の投資や他の会社の贈与を行いました。レン氏は、また、CEO および取締役として 7 年間の任期中、ビートから給与または取締役報酬を受け取っていません。

レン氏のリーダーシップの下、ビートの時価総額は 2013 年 5 月 23 日の 902 百万円から 2019 年 11 月 29 日の 7,063 百万円に増加しました。レン氏はビートの事業に精通しているだけでなく、ビートを支援するための資金を有しています。さらに、日本でのキャリアが示すように、レン氏は日本のために働くことが大好きで、日本文化に精通しており、日本とその人々の福祉にコミットしています。例えば、レン氏は、2020 年 6 月及び 2021 年 5 月に、東京都が行っている「守ろう東京・新型コロナ対策医療支援寄付金」へ総額 2,000 万円を寄付し、東京都を支援しました。従って、ビートがそのような普通株式および新株予約権をレン氏グループに発行する場合、レン氏グループは時折彼/彼らの株式の一部を処分するかもしれませんが、彼/彼らは長期的に主要な株主であり続けると信じています。

ライ氏グループは、ビートが現在直面している問題のいくつかは、ビートが安定した収益性の高い事業および実質的な有形資産を有していないことだと考えています。これらの問題に対処するために、レン氏は Fame Rich の株式持分 39% を喜んで出資いたします。

Fame Rich は、レン氏がその株主持分の全てを保有する会社であり、その完全子会社の Yuet Fat Group Limited が香港尖沙咀地区にいくつかの物件（ショップや駐車場を含み、その評価額は 230 百万香港ドル（3,236 百万円）です。）を所有しており、安定した賃貸収入を生み出しています。

従って、ライ氏グループは、レン氏の当社への Fame Rich の株式持分 39% の出資（その価値を 230 百万香港ドル x 39%、すなわち、89.7 百万香港ドル（1,262.1 百万円）で評価しています。）と引き換えに、ビートがレン氏グループに対して、16,164,625 株の普通株式および 165,435,375 個の新株予約権を発行することを提案するものです。このような現物出資により、ビートは不動産ブロックチェーン技術に関する事業を開始することができるため、ライ氏グループは、ビートが間接的に不動産を保有し、不動産投資運用事業に従事し、ブロックチェーン元帳テクノロジーに基づく不動産取引の記録をさらに発展させることができると期待しています。ライ氏グループが過半数やさらには 100% ではなくて 39% を提案した理由は、東京証券取引所の規則に基づく「裏口上場」へ該当するリスクを回避できる所有割合としつつ、Fame Rich を持分法により連結できるようにし、しかも、新株の数よりも新株予約権の個数を多くすることにより、将来、新株予約権によってビートへ出資される金額を増やすためです。39% は、このような問題を回避するだけでなく、会社に最大の経済的利益をもたらすことができ、良好なバランスが取れた持分割合な訳です。

なお、将来の賃貸収入の減少に関する懸念に対処するために、レン氏グループは、ビートが 2 年間に亘り投資コストに対する 3% の利回り（1 年間につき 2.69 百万香港ドル（37.9 百万円）、以下、「本利回り」といいます。（注））を得られることを保証するつもりです。ビートが、保証された利回りを



得ることができず、レン氏グループが保証された不足分を支払わなかった場合には、ビートはレン氏グループに Fame Rich の株式持分 39%を同じ評価額である 230 百万香港ドル x 39%、すなわち、89.7 百万香港ドル（1,262.1 百万円）で買い戻すよう要求することができるものとします。

(注) 過去 3 年間の年間平均賃貸収入は 5.4 百万香港ドル（76.7 百万円）です。

(1) 普通株式

1.	新規発行株式数	:	16,164,625 株
2.	株式の種類	:	普通株式
3.	前日の終値価格	:	73 円
4.	発行価格	:	前日の終値価格の 9.6%割引である 66 円
5.	対価の総額	:	75.8 百万香港ドル (1,066.9 百万円)
6.	割当予定先	:	レン氏又はレン氏がコントロールする会社

(2) 新株予約権

1.	新規発行新株予約権の個数	:	165,435,375 個
2.	新株予約権の発行価額	:	評価レポートに基づき 1.18 円
3.	行使価額	:	前日の終値に 9.6%の割引をした固定行使価額として、新株予約権 1 個当たり 66 円
4.	行使期間	:	10 年 間
5.	換算率	:	新株予約権 1 個毎に普通株式 1 株
6.	割当予定先	:	レン氏又はレン氏がコントロールする会社
7.	発行価額の総額	:	13.9 百万香港ドル (195.2 百万円)
8.	行使価額の総額(資金調達できる金額)	:	776.0 百万香港ドル (10,918.7 百万円)
9.	その他	:	ビートは、本新株予約権の取得が必要とビートの取締役会が決議した場合は、本新株予約権の払込期日の翌日以降、60 営業日前までに本新株予約権者に通知をした上で、ビート取締役会で定める本新株予約権の取得日に、本新株予約権 1 個当たりその払込金額と同額で、本新株予約権者の保有する本新株予約権の全部又は一部を取得することができる。

注：前日の終値価格：ライ氏の提案日の前日の終値のこと。レン氏グループに対する普通株式の数及び新株予約権の個数は、発行価格と新株予約権の公正な評価に基づいて決定されるものとします。この表では、ライ氏グループは、Fame Rich の株式持分 39%の評価額、すなわち 89.7 百万香港ドル（1,262.1 百万円）（230 百万香港ドル x 39%）を、75.8 百万香港ドル（1,066.9 百万円）]を総株式引受価格として、また、13.9 百万香港ドル（195.2 百万円）]を新株予約権の引受総額として使用しています。なお、この表では、2021 年 5 月 20 日の終値である 1 株当たり 73 円を使用しています。

新株予約権の行使による資金使途

ビートは、グローバルな投資業務を本業として、所有する知的財産権及びブロックチェーン技術に基づいてメディア・ブロックチェーン・エコシステムの構築を含むアプリケーションの開発、知的財産権のライセンス、モバイル・メッセージング・サービス並びにソフトウェア製品及びサービスの提供、並びにメディア事業を行っていますので、次の分野に投資する必要があります。

(1). 投資不動産の取得、



- (2). グローバルな不動産取引、医療データの安全な共有、知的財産権、非代替トークン(NFT)、国境を越えた資金移動、ロジスティクス、投票システム、エンターテインメント業界及びチャリティーのための募金で使用するためのブロックチェーンテクノロジーを開発している企業への投資、
- (3). 不動産、人工知能、ヘルスケア、エンターテインメント業界及びファッションテクノロジー事業に従事し、当社の株主に対して長期的に大きな利益をもたらす、日本や香港を含む世界的に過小評価されている上場企業への投資、並びに
- (4). デジタルバンキング等、高い成長が見込める分野に従事する企業への投資。

2 Fame Rich からの利回りからの配当金の支払いの提案

2014年10月7日、株主総会で可決された特別決議により、ビートの取締役会は、ビートの収益性に関係なく、最大356,549,893米ドル（38,953百万円）の配当を発行する権限を与えられました。

提案1が承認され、ビートがFame Richから利回りを受け取った場合、ビートは利回りのすべて、つまり5.38百万香港ドル（75.7百万円）*を株主への配当として支払う必要があることを提案します。配当の金額及び実際の支払い方法は、適用法および実現可能性の範囲内で、ビートの取締役会によって決定されるものとします。

* 2年間の利回りの合計額は、2億3千万香港ドル x 39% x 3% x 2に相当する、5.38百万香港ドル（75.7百万円）となります。

3 株式分割の提案

ビートの株式の流動性を高めるために、ビートの株式を1から10に分割することを提案します。つまり、額面額 0.01 香港ドルの普通株式 18,200,000,000 株と優先株式 1,800,000,000 株は、額面額 0.001 香港ドルの普通株式 182,000,000,000 株と優先株 18,000,000,000 株に分割されます。

注：この提案で使用されている為替レートは、2021 年 5 月 20 現在の 1 香港ドル =14.07 円及び 1 米ドル =109.25 円です。

3. 請求への当社の対応方針

本請求に対する当社の考え方及び対応の方針につきましては、本請求の内容を慎重に検討の上、決定次第開示いたします。

以 上



ビート・ホールディングス・リミテッドについて

当社、ビート・ホールディングス・リミテッドは、ケイマン諸島に本社を置くグローバルな投資業務を本業として、所有する知的財産権及びブロックチェーン技術に基づいてメディア・ブロックチェーン・エコシステムの構築を含むアプリケーションの開発、及び知的財産権のライセンス事業を行っております。また、子会社の GINSMS Inc.（トロント・ベンチャー証券取引所に上場、TSXV：GOK）を通じてモバイル・メッセージング・サービス並びにソフトウェア製品及びサービス、及び株式会社 CoinOtaku を通じてメディア事業を提供しています。当社は、東京証券取引所の市場第二部に上場（証券コード：9399）、ケイマン諸島においてケイマン法に基づいて設立・登記された会社であり、香港に事業本部を構え、日本、シンガポール、マレーシア、インドネシア、中国及びカナダに子会社を有しております。

詳細は、ウェブサイト：<https://www.beatholdings.com/> をご参照下さい。

本文書は一般公衆に向けられたプレスリリースであり、当社株式の勧誘を構成するものではなく、いかなる投資家も本書の情報に依拠して投資判断を行うことはできません。当社株式への投資を判断する投資家は、有価証券報告書を含む提出書類を確認し、それらに含まれるリスク要因及びその他の情報を熟慮した上でかかる判断を行う必要があります。本書は多くのリスク及び不確定要素を含むいくつかの将来に関する記述を含んでいます。多くの要因が当社の実際の結果、業績または当社の属する産業に影響を与える結果、将来に関する記述で明示または黙示に示される将来の結果及び業績などとは大きく異なることがあります。

別紙1（次ページ以降）

SHAREHOLDERS PROPOSAL

To the Board of Directors of Beat Holdings Limited

We notice that Beat Holdings Limited (“**Beat**”, or “**the Company**”) faced below challenges:

1. does not have stable significant long-term shareholders;
2. does not have stable and profitable business;
3. does not have substantial tangible assets;
4. never paid dividend; and
5. shares lack liquidity.

In order to improve Beat’s situation, we, as shareholders that hold more than 3% outstanding shares of Beat (9,571,965 shares in total), hereby formally present a shareholders proposal to the Board of Directors of Beat so that it could be included in the coming annual shareholders’ meeting to be held in July 2021 to approve the following agenda by ordinary resolution:

1. Issue ordinary shares and stock acquisition rights to Mr. Lian Yih Hann (“**Mr. Lian**”) in exchange for his contribution of 39% equity interest in Fame Rich Limited
 - Mr. Lian could be a major long-term shareholder of Beat
 - Fund raised could be used to acquire company with properties
 - Beat will then have stable and profitable business and substantial tangible assets
2. Payment of Dividend from yield from Fame Rich
 - Beat could pay dividend to shareholders from the yield
3. Share split of 1 into 10

Details of the Agenda:

1. Issue ordinary shares and stock acquisition rights to Mr. Lian or entities controlled by Mr. Lian in exchange for his/their contribution of 39% equity interest in Fame Rich Limited

We propose to issue 16.2 million ordinary shares and 165.4 million stock acquisition rights (“**SAR(s)**”) to Mr. Lian or entities controlled by Mr. Lian Yih Hann (“**Mr Lian Group**”) with details listed in the tables below, in exchange for his contribution of 39% equity interest in Fame Rich Limited (“**Fame Rich**”) (contribution in kind (Genbutsu shusshi)).

Mr. Lian has studied in Japan and worked for/set up Japanese companies. He has been an exchange student to Sophia University, and worked at Nittetsu Shoji (currently known as Nippon Steel Trading Corporation) and Nomura/JAFCO Investment (Hong Kong) Limited (currently known as JAFCO Asia), and Mr. Lian is the co-founder and CEO of BBMF Corporation, whose subsidiary is currently known as Beagle Co., Ltd. (listed on Section One of Tokyo Stock Exchange, stock code 3981)

Mr Lian is the former Chairman, CEO and CFO and a Director of Beat, who was appointed on 23 May 2013. Since Beat's then existing businesses were all loss-making, he managed Beat to have exited unprofitable businesses and have started new businesses including Messaging, Health Care, Blockchain Technology and Intellectual Property Licencing, and also changed the Company’s name from Xinhua Holdings Limited to Beat Holdings Limited to reflect the change in the Company's businesses. On 29 Nov 2019, however, he had to retire as Chairman, CEO and CFO and a Director of Beat due to health reason.

When he managed Beat, in order to support Beat financially, Mr. Lian, either by himself or through his private investment company One Heart International Limited, extended loans of USD8.0 million (JPY874.0 million) to Beat, and made investment and gifts (company) of USD3.7 million (JPY404.2 million) in/to Beat. Mr. Lian also did not get any salary or director fee from Beat for 7 years as CEO and director.

Under Mr. Lian’s leadership, the market capitalization of Beat increased from JPY902 million on 23 May

2013 to JPY7,063 million on 29 Nov 2019. Mr. Lian is not only familiar with the Company's business, but also has sufficient fund to support the Company. In addition, as his career in Japan shows, Mr. Lian loves working for Japan, familiar with Japan culture and is committed to the welfare of Japan and its people. For instance, Mr. Lian supported the government of Tokyo through a donation of JPY20 million in total to the Tokyo Metropolitan Government for the Protect Tokyo and Support Health Care Initiative fund in June 2020 and May 2021. Therefore, if Beat issues such ordinary shares and SARs to Mr. Lian Group, although Mr. Lian Group may dispose part of his/their shares from time to time, we believe he/they will remain as a major shareholder(s) in the long term.

As noted above, some of the issues Beat is currently facing is that Beat does not have stable and profitable business and substantial tangible assets. To address these issues, Mr. Lian is willing to contribute 39% equity interest in Fame Rich Limited.

Fame Rich is a company wholly-owned by Mr. Lian, which has a wholly-owned subsidiary, Yuet Fat Group Limited ("Yuet Fat") that holds a few properties in Hong Kong Tsim Sha Tsui District (including shops and car parks) with valuation of HK\$230 million (JPY3,236 million), and generates stable rental income.

We, therefore, propose that in exchange for Mr. Lian's contribution to Beat of 39% equity interest of Fame Rich at the valuation of HK\$230 million x 39% (HKD89.7 million (JPY1,262.1 million), Beat will issue 16,164,625 ordinary shares and 165,435,375 SARs to Mr. Lian Group. By such contribution, Beat will then start business in property blockchain technology, so we expect Beat would indirectly hold properties and be engaged in property investment management business, and will be able to further develop the recording of property transaction based on blockchain ledger technology. The reason why we proposed 39% rather than a majority or even 100% is that the ownership ratio can avoid the risk of "backdoor listing" issues under the Tokyo Stock Exchange's rules and also enable Beat to consolidate Fame Rich by equity method. Also, by making the number of SARs larger than the number of new shares, the amount of money to be invested in Beat through SARs in the future will be increased. 39% is a well-balanced stake that can not only avoid these problems, but also bring the greatest financial benefits to the company.

To address some concern about any future reduction of rental income, Mr. Lian Group is willing to guarantee that Beat will earn 3% yield (earning over the investment cost, HK\$2.69 million (JPY37.9 million) per year) for 2 years ("Yield")*. If Beat could not earn the guaranteed Yield and Mr. Lian Group did not pay the guaranteed shortfall, Beat could request Mr. Lian Group to buy back the 39% equity interest of Fame Rich at the same valuation of HK\$230 million x 39% (HKD89.7 million (JPY1,262.1 million)).

* Average rental income per year for the past 3 year is HK\$5.4 million (JPY76.7 million).

(a) Ordinary Shares

1.	Number of shares to be issued	:	16,164,625
2.	Type of share	:	ordinary
3.	Prior Closing Date Price	:	JPY73
4.	Issue Price	:	9.6% discount to Prior Closing Date Price, JPY66
5.	Total consideration	:	HKD75.8 million (JPY1,066.9 million)
6.	Allottee	:	Mr. Lian or entities controlled by Mr. Lian

(b) Stock acquisition rights

1.	Number of SARs to be issued	:	165,435,375
2.	Issue Price	:	JPY1.18, based on valuation report
3.	Exercise Price	:	9.6% discount to Prior Closing Date Price, fixed strike, JPY66 per SAR
4.	Exercise Period	:	10 year
5.	Conversion ratio	:	1 ordinary share per SAR
6.	Allottee	:	Mr. Lian or entities controlled by Mr. Lian
7.	Total Issue Price	:	HKD13.9 million (JPY195.2 million)
8.	Total Exercise Price	:	HKD776.0 million (JPY10,918.7 million)

	(Fund to be raised)	
9.	Others :	<u>Voluntary buy back clause (Anytime Call)</u> From the day after the payment date of the SARs, if the Board of Directors of the Company resolves that it is necessary to buy back the SARs, the Company shall notify the SAR holder with 60 business days prior notice. On the buy back date specified by the Board of Directors, the Company can buy back all or part of the SARs held by the SAR holder at the same amount as the amount paid for each SAR.

Note : Prior Closing Date Price: the closing price on the date prior to the date of this shareholders proposal. The final number of the ordinary shares and the SARs to be issued to Mr. Lian Group will be determined based on the Issue Price and the fair valuation of the SARs. In the table, we allocate the valuation of 39% interest of Fame Rich, i.e., HKD89.7 million (JPY1,262.1 million) (HKD230 million x 39%) into HKD75.8 million (JPY1,066.9 million) as total shares subscription price and HKD13.9 million (JPY195.2 million) as total SAR subscription price and use the closing price of JPY73 per share on 20 May, 2021.

Use of proceeds from exercise of SARs:

As Beat is a global investment company, developing applications based on blockchain technology including building a media blockchain ecosystem based on proprietary intellectual properties and technology, licensing of intellectual properties, providing mobile messaging service, software products and services as well as media business, we should invest in following areas:

- (1). for acquisition of properties for investment;
- (2). investment in companies that is developing block chain technology for use in global real estate transactions, secured sharing of medical data, intellectual property rights, Non Fungible Tokens, cross border fund transfers, logistics, voting system, entertainment industry and fund raising for charity;
- (3). investment in undervalued listed companies globally including Japan and Hong Kong, that engage in real estate, artificial intelligence, healthcare, entertainment industry and fashion technology business to generate substantial returns in long term for shareholders of Beat; and
- (4). investment in companies that engage in areas of high growth prospects such as digital banking.

2. Payment of Dividend from yield from Fame Rich

On October 7, 2014, through a special resolution passed at a shareholders meeting, the Board Directors of Beat has been given the power to issue up to USD356,549,893 (JPY38,953 million) dividend, regardless of the profitability of Beat.

We propose that if Proposal #1 is approved and if Beat received the Yield from Fame Rich, Beat need to pay all of the Yield, that is HK\$5.38 million (JPY75.7 million) #, as dividends to shareholders. The actual way of the amount and how to pay dividends shall be determined by Beat's Board within the limits of applicable law and feasibility.

All of the Yield for 2 years equals to HK\$230 million * 39% * 3% * 2 = HK\$5.38 million (JPY75.7 million).

3. Share split

In order to increase the liquidity of Beat's shares, we propose Beat to have a share split of 1 into 10. That is the 18,200,000,000 ordinary shares and 1,800,000,000 preference shares of a nominal par value of HK\$0.01 be split into 182,000,000,000 ordinary shares and 18,000,000,000 preference shares of a nominal par value of HK\$0.001.

Note : The exchange rate used is HKD1 = JPY14.07 and USD1 = JPY109.25 as of 20 May, 2021.